

授業づくりの基本 STEP

**単元(題材)
全体を通して**

STEP5

定着・次への意欲喚起

—「わかった」「できた」「次は？」—

STEP4

単元(題材)の構想

—どのような流れで学びを深めるか—

STEP3

児童生徒の実態把握・課題設定

—実態に合わせてどのように学習意欲を喚起するか—

STEP2

目標を達成したゴールの姿の明確化

—学習の終了時にどのような姿を目指すのか—

STEP1

目標・指導事項の明確化

—どんな力をつけるために何を教えるのか—

- ☆学びの基盤となる学習規律の徹底
- ☆だれにでも分かりやすい発問や提示の工夫
- ☆生徒指導の三機能を生かす
- ☆児童・生徒の「居場所」づくり, 「絆」づくり

学習環境づくり・学級づくり

授業づくりの基本 STEP

本時

本時のゴール

STEP5

定着・次時への意欲喚起

本時のまとめを子どもから引き出し、「わかった」「できた」と実感できるようにします。

習熟や振り返りを通して定着と次時への意欲付けを図ります。

STEP2

ゴールの姿の明確化

児童生徒が本時のねらいを達成した「ゴールの姿」を明確にイメージします。

『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料』（国立教育政策研究所）を参考に評価規準を設定します。

STEP4

授業展開の構想

本時のねらいを達成するために、どのような活動で思考を深めるか、授業の山場・発問・学習形態・板書等を考えます。

STEP3

課題設定の工夫

児童生徒の実態に合わせて、本時のねらい達成のための課題を設定します。

「考えたくなる」ような知的好奇心をゆさぶる課題設定や提示の仕方を工夫します。

STEP1

本時のねらい・指導事項の明確化

本時で「どんな力をつけるために」「何を教えるのか」を明確にします。

『学習指導要領』に示されている目標及び内容を確認し、本時のねらいを設定し、付けたい力を明確にします。

本時のスタート